

# 西宮市財政事情

令和3年度下半期

令和4年3月31日現在

人 口 483,537人  
世帯数 217,387世帯  
面 積 100.18km<sup>2</sup>

地方自治法第243条の3第1項の規定に基づく「財政事情の公表に関する条例」の定めるところにより、令和3年度下半期（令和3年10月1日から令和4年3月31日まで）及び令和4年度の本市の財政事情を次のとおり公表します。

## 1. 令和3年度下半期の状況

### (1) 予算額、収入及び支出の状況

令和4年3月31日現在における予算額、収入及び支出の状況は、第1表及び第2表のとおりです。

予算の構成については、一般会計は2,224億5,064万円、特別会計は936億9,628万円、両会計の合計額は3,161億4,692万円（前年度からの繰越分26億1,403万円を含む。）となっており、令和3年度9月末日の上半期の予算額から一般会計では192億8,570万円の増額、特別会計では28億381万円の増額となっています。

一般会計における歳出の補正の主なものとしては、民生費145億9,257万円、総務費45億5,545万円、衛生費17億5,004万円などを増額し、教育費7億3,150万円、土木費6億2,123万円、消防費2億2,184万円などを減額しています。

歳入では、国庫支出金165億5,915万円、地方交付税36億858万円、繰越金33億3,259万円などを増額し、繰入金28億9,493万円、市債20億7,120万円、諸収入1億6,118万円などを減額しています。

特別会計では、国民健康保険20億9,185万円、介護保険5億5,200万円、後期高齢者医療事業2億1,493万円などを増額し、集合支払費5,223万円などを減額しています。

予算に対する収入及び支出の状況については、一般会計の収入では、市税839億4,546万円（収入率97.5%）、国庫支出金535億5,604万円（収入率89.1%）、県支出金117億2,725万円（収入率84.3%）などとなっています。

支出では、民生費863億9,047万円（執行率80.1%）、総務費224億4,501万円（執行率84.4%）、教育費174億5,613万円（執行率80.6%）、衛生費168億5,169万円（執行率73.6%）、公債費146億727万円（執行率100%）、土木費127億5,395万円（執行率75.2%）などとなっています。

特別会計では、国民健康保険が収入376億9,501万円（収入率81.4%）と支出391億5,746万円（執行率84.6%）、介護保険が収入299億8,208万円（収入率80.3%）と支出327億5,335万円（執行率87.8%）、後期高齢者医療事業が収入72億5,822万円（収入率89.0%）と支出65億1,30

0万円（執行率79.8%）などとなっています。

## （2）市民の税負担の状況

令和3年度予算（令和4年3月31日現在）における市民1人当たりの市税負担は、個人市民税79,466円、固定資産税67,480円、市街地開発等の都市計画事業の一部にあてられる都市計画税は15,947円となっており、市税全体としては178,118円となります。また、1世帯当たりでは、市税全体としては396,191円の負担となります。

前年度と比べて、市民1人当たりで1,947円の減、1世帯当たりで7,218円の減となっています。

## （3）公営企業の業務状況

病院事業、水道事業、工業用水道事業及び下水道事業の業務状況は、別途公表のとおりです。

## （4）繰越事業の執行状況

前年度からの繰越事業の執行状況については、第3表のとおりです。

## （5）市債、公有財産、一時借入金等及び基金の現在高

市債、公有財産、一時借入金等及び基金の現在高については、第4表のとおりです。

## 2. 令和4年度 当初予算の概要

令和4年度予算は、新型コロナウイルス感染症に引き続き取り組むとともに、学校施設の改築・改修など公共施設の老朽化対策や待機児童対策をはじめとした喫緊の課題への対応などに重点的に財源を配分しました。

当初予算の規模は次のとおりです。

会計区分	令和4年度	増減額（対前年度）	増減率
一般会計	195,828,360 千円	1,972,156 千円	1.0 %
特別会計	90,410,851 千円	△ 474,291 千円	△ 0.5 %
企業会計	45,987,477 千円	△ 1,701,743 千円	△ 3.6 %
合 計	332,226,688 千円	△ 203,878 千円	△ 0.1 %

このうち一般会計は、前年度に比べ、総務費が庁舎整備費の減などにより約16億円（△7.2%）の減となる一方、教育費が小学校の大規模改修などにより約17億円（7.8%）の増、衛生費が新型コロナウイルス感染症対策事業の実施などにより約14億円（7.3%）の増となっており、全体では約20億円（1.0%）の増となっています。

特別会計（国民健康保険ほか8会計）は、前年度に比べ約5億円（0.5%）の減となっています。これは主に国民健康保険特別会計が県への事業費納付金の減などにより約8億円（1.8%）の減となったことによるものです。

一般会計及び特別会計の歳出予算の性質別区分は、第8表のとおりです。

また、公営企業の当初予算の概要については、別途公表のとおりです。

以上が令和4年度当初予算の概要ですが、事業執行に当っては、更なる精査により事業費の節減や財源の確保に努めるなど、あらゆる観点から見直し、効率的な財政運営に努めます。

第1表

令和3年度 一般会計予算とその執行状況

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科目	歳入				収入額 B	収入率 B/A %	科目	歳出				支出済額 D	執行率 D/C %
	予算額							予算額					
	9月末 予算額	補正額	予算現額 A	構成率 %				9月末 予算額	補正額	予算現額 C	構成率 %		
市税	85,128,280,000	998,508,000	86,126,788,000	38.7	83,945,463,059	97.5	議会費	839,484,000	12,680,000	852,164,000	0.4	834,129,023	97.9
地方譲与税	839,201,000		839,201,000	0.4	868,936,465	103.5	総務費	11,368,500 22,037,301,500	4,555,451,000	11,368,500 26,592,752,500	12.0	11,368,500 22,445,010,718	84.4
利子割交付金	103,000,000		103,000,000	0.0	93,705,000	91.0	民生費	624,708,000 93,214,812,000	14,592,574,000	624,708,000 107,807,386,000	48.5	398,385,336 86,390,465,768	80.1
配当割交付金	672,000,000		672,000,000	0.3	949,419,000	141.3	衛生費	21,159,238,000	1,750,042,000	22,909,280,000	10.3	16,851,691,297	73.6
株式等譲渡所得割 交付金	654,000,000		654,000,000	0.3	1,121,935,000	171.5	労働費	583,064,000	△ 40,827,000	542,237,000	0.2	412,751,210	76.1
法人事業税交付金	541,000,000		541,000,000	0.2	661,329,000	122.2	農林水産費	179,461,000	6,057,000	185,518,000	0.1	135,517,452	73.0
地方消費税 交付金	9,548,000,000		9,548,000,000	4.3	10,326,515,000	108.2	商工費	229,673,000 2,421,949,000	222,767,000	229,673,000 2,644,716,000	1.2	210,572,000 1,671,811,962	63.2
ゴルフ場利用税 交付金	133,000,000		133,000,000	0.1	145,179,748	109.2	土木費	1,321,027,000 17,576,408,000	△ 621,232,000	1,321,027,000 16,955,176,000	7.6	997,316,810 12,753,952,614	75.2
環境性能割 交付金	132,000,000		132,000,000	0.1	124,042,897	94.0	消防費	14,295,000 7,854,174,000	△ 221,843,000	14,295,000 7,632,331,000	3.4	13,307,540 6,410,021,803	84.0
地方特例交付金	669,000,000	△ 21,609,000	647,391,000	0.3	795,257,000	122.8	教育費	388,250,275 22,379,373,275	△ 731,499,000	388,250,275 21,647,874,275	9.7	324,063,728 17,456,130,334	80.6
地方交付税	3,170,000,000	3,608,580,000	6,778,580,000	3.0	6,827,203,000	100.7	災害復旧費	24,710,000 26,710,000		24,710,000 26,710,000	0.0	18,224,951 18,224,951	68.2
交通安全対策 特別交付金	65,000,000		65,000,000	0.0	61,352,000	94.4	公債費	14,803,621,000	△ 192,935,000	14,610,686,000	6.6	14,607,271,018	100.0
分担金及び 負担金	827,782,000	△ 12,694,000	815,088,000	0.4	733,188,073	90.0	諸支出金	9,349,000	1,732,000	11,081,000	0.0	11,080,167	100.0
使用料及び 手数料	6,730,713,000	△ 122,148,000	6,608,565,000	3.0	6,071,290,883	91.9	予備費	80,000,000	△ 47,271,000	32,729,000	0.0	0	0.0
国庫支出金	1,176,133,000		1,176,133,000		993,782,704								
	43,540,930,000	16,559,152,000	60,100,082,000	27.0	53,556,037,184	89.1							
県支出金	14,070,000		14,070,000		14,070,000								
	13,971,022,000	△ 67,552,000	13,903,470,000	6.2	11,727,247,391	84.3							
財産収入	799,063,000	17,000	799,080,000	0.4	668,799,563	83.7							
寄附金	105,032,000	138,160,000	243,192,000	0.1	284,245,723	116.9							
繰入金	9,388,580,000	△ 2,894,929,000	6,493,651,000	2.9	228,565,398	3.5							
繰越金	302,928,775		302,928,775		302,928,775								
	1,701,887,775	3,332,588,000	5,034,475,775	2.3	5,034,476,121	100.0							
諸収入	6,859,754,000	△ 161,177,000	6,698,577,000	3.0	5,018,291,513	74.9							
市債	1,120,900,000		1,120,900,000		717,000,000								
	17,585,700,000	△ 2,071,200,000	15,514,500,000	7.0	7,290,600,000	47.0							
歳入合計	2,614,031,775		2,614,031,775		2,027,781,479		歳出合計	2,614,031,775		2,614,031,775		1,973,238,865	
	203,164,944,775	19,285,696,000	222,450,640,775	100.0	196,533,079,018	88.3		203,164,944,775	19,285,696,000	222,450,640,775	100.0	179,998,058,317	80.9

(注) 上段の数字は、前年度からの繰越事業費の再掲

第2表

## 令和3年度 特別会計予算とその執行状況

令和4年3月31日現在 (単位:円)

会計名	予算額			収入済額 B	収入率 B/A %	支出済額 C	執行率 C/A %
	9月末予算額	補正額	予算現額 A				
国民健康保険	44,215,098,000	2,091,852,000	46,306,950,000	37,695,006,758	81.4	39,157,455,856	84.6
食肉センター	370,428,000		370,428,000	98,218,467	26.5	348,440,835	94.1
中小企業勤労者福祉共済事業	135,774,000	△ 3,582,000	132,192,000	85,564,182	64.7	114,474,167	86.6
公共用地買収事業	7,210,000		7,210,000	64,576,486	895.7	1,427,516	19.8
介護保険	36,772,757,000	551,999,000	37,324,756,000	29,982,078,379	80.3	32,753,348,044	87.8
後期高齢者医療事業	7,943,168,000	214,929,000	8,158,097,000	7,258,215,625	89.0	6,513,003,353	79.8
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	26,559,000		26,559,000	31,736,927	119.5	13,547,318	51.0
鳴尾外財産区	26,423,000	836,000	27,259,000	27,256,625	100.0	27,256,625	100.0
集合支払費	1,395,056,000	△ 52,229,000	1,342,827,000	935,781,331	69.7	1,153,450,178	85.9
特別会計 合計	90,892,473,000	2,803,805,000	93,696,278,000	76,178,434,780	81.3	80,082,403,892	85.5

市民の税負担の状況

令和4年3月31日現在

区 分	令和3年度 予算現額	市民1人 当たりの額	1世帯 当たりの額
市 税	86,126,788,000 円	178,118 円	396,191 円
うち個人市民税	38,424,932,000 円	79,466 円	176,758 円
固定資産税	32,629,196,000 円	67,480 円	150,097 円
都市計画税	7,711,030,000 円	15,947 円	35,471 円
法人市民税	3,399,890,000 円	7,031 円	15,640 円
その他の市税	3,961,740,000 円	8,193 円	18,224 円

人 口 483,537 人

世帯数 217,387 世帯

[令和2年度の状況] 令和3年3月31日現在

市税予算額	87,773,741,000 円
市民1人当たり額	180,065 円
1世帯当たり額	403,409 円

第3表

前年度からの繰越事業の執行状況

(令和2年度→令和3年度)

令和4年3月31日現在 (単位:円)

会計名	繰越額	収入済額				支出済額
		国県支出金	市債	その他特定財源	繰越金	
一般会計	2,614,031,775	1,007,852,704	717,000,000	0	302,928,775	1,973,238,865
特別会計	—	—	—	—	—	—
合計	2,614,031,775	1,007,852,704	717,000,000	0	302,928,775	1,973,238,865



第4表

## 市債、公有財産、一時借入金等及び基金の現在高

令和4年3月31日現在

## 市債の現在高

区分		金額(円)
一般会計		131,993,920,839
特別会計		387,118,977
内訳	食肉センター	358,129,742
	母子父子寡婦福祉資金貸付事業	28,989,235
合計		132,381,039,816

## 公有財産の状況

区分		数量(m <sup>2</sup> )	評価額(千円)	構成比(%)
行政財産	土地	5,478,820.80	653,839,652	60.8
	建物	1,566,042.30	324,749,007	30.2
	計	7,044,863.10	978,588,659	91.0
普通財産	土地	4,390,839.32	70,902,860	6.6
	建物	43,187.95	9,661,251	0.9
	計	4,434,027.27	80,564,111	7.5
有価証券・その他			15,783,288	1.5
合計	土地	9,869,660.12	724,742,512	67.4
	建物	1,609,230.25	334,410,258	31.1
	有価証券・その他		15,783,288	1.5
合計		11,478,890.37	1,074,936,058	100.0

## 一時借入金等の状況

(単位:円)

一時借入金残額	0
基金繰替運用残額	0

## 基金の現在高

区分	金額(円)
耐火物件火災損害填補積立金	1,312,054,411
奨学基金	489,916,586
財政基金	20,236,588,334
「青い鳥」福祉基金	54,057,549
藤田奨学福祉基金	121,093,448
中小企業勤労者福祉共済基金	108,306,720
公共施設等整備基金	68,794,050
教育振興基金	32,796,870
緑化基金	79,437,040
図書館振興基金	7,839,984
公共土木施設維持補修基金	81,234,878
減債基金	3,493,479,621
長寿ふれあい基金	9,500,638
スポーツ振興基金	49,320,480
協愛奨学基金	136,517,269
市営住宅敷金等積立基金	519,484,950
文化振興基金	34,723,761
介護給付費準備基金	3,866,940,702
国民健康保険財政安定化基金	1,610,687,582
バス事業基金	109,526,728
フレンテ西宮商業床敷金積立基金	49,332,780
学校給食費基金	248,695,391
公共施設保全積立基金	4,880,874,782
墓地整備基金	267,606,687
新型コロナウイルス感染症対策基金	127,515,506
都市計画事業基金	2,658,768,008
森林環境譲与税基金	45,098,359
動物愛護基金	7,224,000
合計	40,707,417,114

第5表

最近5か年間の当初予算の状況

(単位:百万円)

区 分	平成30年度				令和元年度				令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	予算額	構成率	前年比	指数	予算額	構成率	前年比	指数	予算額	構成率	前年比	指数	予算額	構成率	前年比	指数	予算額	構成率	前年比	指数
一般会計	178,056	67.0	100.8	100	184,073	67.7	103.4	103	193,081	68.5	104.9	108	193,856	68.1	100.4	109	195,828	68.4	101.0	110
特別会計	87,852	33.0	92.8	100	87,633	32.3	99.8	100	88,642	31.5	101.2	101	90,885	31.9	102.5	103	90,411	31.6	99.5	103
合 計	265,908	100.0	98.0	100	271,706	100.0	102.2	102	281,722	100.0	103.7	106	284,741	100.0	101.1	107	286,239	100.0	100.5	108

第6表

一般会計の最近5か年間の当初予算財源構成

(単位:百万円)

区分	平成30年度				令和元年度				令和2年度				令和3年度				令和4年度				
	予算額	構成率	前年比	指数	予算額	構成率	前年比	指数	予算額	構成率	前年比	指数	予算額	構成率	前年比	指数	予算額	構成率	前年比	指数	
自主財源	108,664	61.0	99.2	100	110,582	60.1	101.8	102	114,564	59.3	103.6	105	109,698	56.6	95.8	101	110,351	56.4	100.6	102	
内訳	市税	86,220	48.4	100.7	100	87,362	47.5	101.3	101	87,774	45.5	100.5	102	85,128	43.9	97.0	99	87,135	44.5	102.4	101
	使用料及び手数料等	8,746	4.9	99.9	100	8,073	4.4	92.3	92	7,738	4.0	95.9	88	7,550	3.9	97.6	86	7,676	3.9	101.7	88
	財産収入	794	0.4	80.7	100	999	0.5	125.8	126	1,051	0.5	105.2	132	811	0.4	77.2	102	650	0.3	80.1	82
	繰入金	7,358	4.1	104.4	100	8,948	4.9	121.6	122	7,196	3.7	80.4	98	9,356	4.8	130.0	127	9,408	4.8	100.6	128
	諸収入	5,521	3.1	77.8	100	5,096	2.8	92.3	92	10,701	5.5	210.0	194	6,749	3.5	63.1	122	5,376	2.7	79.7	97
	その他	25	0.0	113.6	100	104	0.0	416.0	416	104	0.0	100.0	416	104	0.1	100.0	416	106	0.1	101.9	424
依存財源	69,392	39.0	103.5	100	73,491	39.9	105.9	106	78,517	40.7	106.8	113	84,158	43.4	107.2	121	85,477	43.6	101.6	123	
内訳	地方交付税等	14,616	8.2	105.1	100	15,714	8.5	107.5	108	15,020	7.8	95.6	103	16,526	8.5	110.0	113	21,306	10.9	128.9	146
	国庫支出金	31,213	17.5	98.0	100	33,127	18.0	106.1	106	34,296	17.8	103.5	110	38,120	19.7	111.1	122	38,684	19.8	101.5	124
	県支出金	10,620	6.0	102.0	100	11,398	6.2	107.3	107	12,455	6.5	109.3	117	12,911	6.7	103.7	122	13,851	7.1	107.3	130
	諸収入	0	0.0	100.0	100	0	0.0	100.0	100	0	0.0	100.0	100	0	0.0	100.0	100	0	0.0	100.0	100
	市債	12,943	7.3	118.8	100	13,252	7.2	102.4	102	16,746	8.7	126.4	129	16,601	8.5	99.1	128	11,636	5.9	70.1	90
合計	178,056	100.0	100.8	100	184,073	100.0	103.4	103	193,081	100.0	104.9	108	193,856	100.0	100.4	109	195,828	100.0	101.0	110	

(注) 自主財源の「使用料及び手数料等」には、分担金及び負担金を含む  
 自主財源の「その他」は、寄附金、繰越金  
 依存財源の「地方交付税等」には、地方譲与税及び交付金を含む

第7表

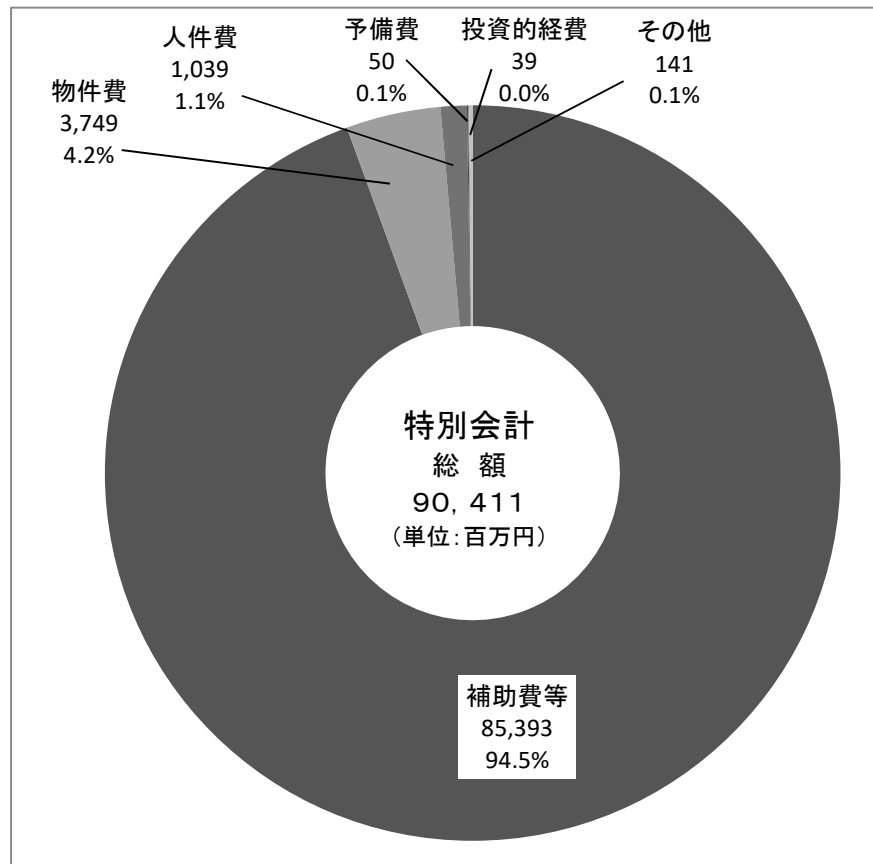
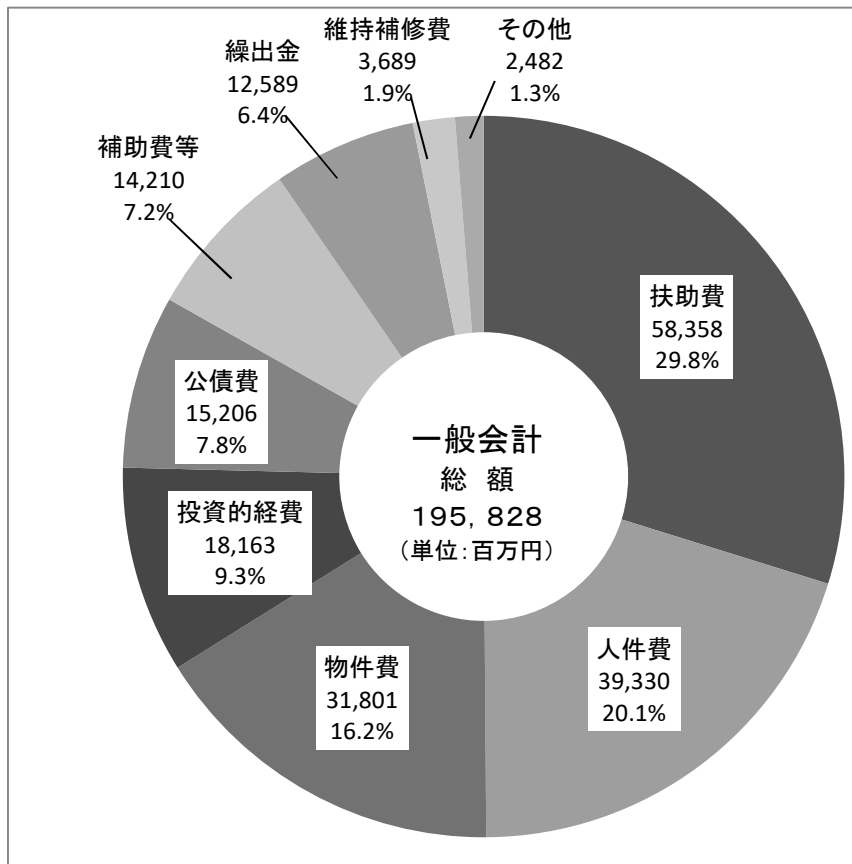
## 一般会計の最近5か年間の当初予算目的別経費

(単位:百万円)

区分	平成30年度				令和元年度				令和2年度				令和3年度				令和4年度			
	予算額	構成率	前年比	指数	予算額	構成率	前年比	指数	予算額	構成率	前年比	指数	予算額	構成率	前年比	指数	予算額	構成率	前年比	指数
議会費	909	0.5	99.3	100	906	0.5	99.7	100	896	0.5	98.9	99	851	0.4	95.0	94	863	0.4	101.4	95
総務費	18,102	10.2	110.4	100	19,103	10.4	105.5	106	23,094	12.0	120.9	128	21,952	11.3	95.1	121	20,364	10.4	92.8	112
民生費	82,447	46.3	100.3	100	85,244	46.3	103.4	103	88,305	45.7	103.6	107	89,793	46.3	101.7	109	91,118	46.5	101.5	111
衛生費	14,816	8.3	92.8	100	14,685	8.0	99.1	99	15,594	8.1	106.2	105	18,877	9.7	121.1	127	20,255	10.4	107.3	137
労働費	429	0.2	152.1	100	277	0.2	64.6	65	302	0.2	109.0	70	532	0.3	176.2	124	365	0.2	68.6	85
農林水産費	154	0.1	90.6	100	179	0.1	116.2	116	166	0.1	92.7	108	179	0.1	107.8	116	181	0.1	101.1	118
商工費	974	0.6	94.7	100	1,493	0.8	153.3	153	965	0.5	64.6	99	927	0.5	96.1	95	915	0.5	98.7	94
土木費	18,184	10.2	99.3	100	17,035	9.3	93.7	94	16,989	8.8	99.7	93	16,219	8.4	95.5	89	15,903	8.1	98.1	87
消防費	6,003	3.4	95.0	100	5,725	3.1	95.4	95	6,602	3.4	115.3	110	7,840	4.1	118.8	131	7,072	3.6	90.2	118
教育費	20,703	11.6	106.3	100	23,421	12.7	113.1	113	24,413	12.6	104.2	118	21,791	11.3	89.3	105	23,493	12.0	107.8	113
災害復旧費	2	0.0	100.0	100	2	0.0	100.0	100	2	0.0	100.0	100	2	0.0	100.0	100	2	0.0	100.0	100
公債費	15,272	8.6	98.5	100	15,911	8.6	104.2	104	15,667	8.1	98.5	103	14,804	7.6	94.5	97	15,206	7.8	102.7	100
諸支出金	11	0.0	73.3	100	12	0.0	109.1	109	6	0.0	50.0	55	9	0.0	150.0	82	11	0.0	122.2	100
予備費	50	0.0	100.0	100	80	0.0	160.0	160	80	0.0	100.0	160	80	0.0	100.0	160	80	0.0	100.0	160
合計	178,056	100.0	100.8	100	184,073	100.0	103.4	103	193,081	100.0	104.9	108	193,856	100.0	100.4	109	195,828	100.0	101.4	110

第 8 表

令和4年度 一般会計及び特別会計当初予算 性質別経費の状況



<ul style="list-style-type: none"> <li>* 扶助費…生活保護法等社会福祉関係法等に基づき、被扶助者に対して支給されるもの</li> <li>* 公債費…市債の元利償還金と一時借入金利息</li> <li>* 物件費…需用費(消耗品費、印刷製本費、光熱水費など)、委託料、賃借料、備品購入費など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 補助費等…負担金、補助及び交付金や報償費など</li> <li>* 投資的経費…道路等の公共土木施設や文教施設等の建設事業費</li> <li>* 繰出金…一般会計から特別会計への繰出金</li> </ul>
--	---

## 令和3年度下半期 水道事業の業務の状況

### 1 事業の概況

#### (1) 給水

区 分	令和3年度下半期	令和2年度下半期	前年比
給 水 戸 数	239,706 戸	237,931 戸	100.7 %
給 水 装 置 数	118,867 個	117,174 個	101.4 %
給 水 人 口	483,424 人	486,583 人	99.4 %
配 水 量	(25,396,385) m <sup>3</sup> 26,795,655 m <sup>3</sup>	(25,632,680) m <sup>3</sup> 27,211,260 m <sup>3</sup>	98.5 %
一日最大配水量	(12月31日) 153,117 m <sup>3</sup>	(1月11日) 161,636 m <sup>3</sup>	94.7 %
一日最小配水量	(1月1日) 132,462 m <sup>3</sup>	(1月1日) 138,196 m <sup>3</sup>	95.9 %
一日平均配水量	147,229 m <sup>3</sup>	149,512 m <sup>3</sup>	98.5 %

注 配水量の（ ）は内数で、阪神水道企業団及び兵庫県企業庁からの受水量

3月末の給水戸数は 239,706 戸で、給水人口は 483,424 人です。  
配水量については、前年同期に比べて、

一日最大配水量は、 5.3% ( 8,519 m<sup>3</sup>) 減の 153,117 m<sup>3</sup>で、  
一日平均配水量は、 1.5% ( 2,283 m<sup>3</sup>) 減の 147,229 m<sup>3</sup>です。

## (2) 建設

原水及び浄水施設費で施工している主な工事としては、次の工事があります。

1. 鳴尾浄水場沈澱池用PAC貯留槽ほか取替工事
2. 丸山貯水池受変電設備等更新工事

配水施設費で施工している主な工事としては、次の工事があります。

1. 越水浄水場第1配水池外耐震補強工事（その2）
2. 芦部谷ポンプ場受変電設備ほか更新工事
3. 丸山浄水場自家発電設備設置工事

また、市内各所の送配水管2,454.9mを布設改良しました。

## (3) 受託工事

区 分	令和3年度下半期		令和2年度下半期		前年比
給水装置 修繕工事	1,004 件	宅地内 有料 218 無料 786	1,148 件	宅地内 有料 226 無料 922	87.5 %
給水本管 布設等	2 件	布設 0m 撤去 0m	2 件	布設 7.5m 撤去 7.8m	100.0 %

## 2 経理の状況

当期の経営状況は、営業収益が42億946万円（給水収益等）でこれに対する費用は46億498万円となり差引き3億9,552万円の営業損失となります。これに営業外収益（分担金、長期前受金戻入等）と営業外費用（支払利息等）及び特別利益（過年度損益修正益）を加減すると、当期は2億865万円の純利益となります。

### 上水道事業

（令和4年3月31日現在）

科 目	令和3年度下半期	令和2年度下半期	前年比(%)
<b>1 営業収益</b>	<b>4,209,456,147</b>	<b>4,546,474,798</b>	<b>92.5</b>
(1)給水収益	3,932,649,589	3,838,413,822	102.4
(2)受託工事収益	5,722,793	12,085,879	47.3
(3)その他の営業収益	271,083,765	695,975,097	38.9
<b>2 営業費用</b>	<b>4,604,978,700</b>	<b>4,644,919,936</b>	<b>99.1</b>
(1)原水及び浄水費	316,252,413	340,915,400	92.7
(2)受水費	1,543,152,668	1,558,608,600	99.0
(3)配水費	545,041,197	507,370,542	107.4
(4)給水費	384,833,245	351,412,025	109.5
(5)受託工事費	5,919,027	12,672,299	46.7
(6)業務費	295,649,864	298,681,103	98.9
(7)総係費	304,394,001	330,378,172	92.1
(8)減価償却費	1,189,512,880	1,174,455,159	101.2
(9)資産減耗費	19,789,414	70,011,123	28.2
(10)その他営業費用	433,991	415,513	104.4
<b>営業利益</b>	<b>△395,522,553</b>	<b>△98,445,138</b>	-
<b>3 営業外収益</b>	<b>591,687,172</b>	<b>646,118,988</b>	<b>91.5</b>
(1)受取利息	103,204	94,316	109.4
(2)分担金	136,694,650	166,547,220	82.0
(3)他会計補助金	6,043,814	7,961,962	75.9
(4)長期前受金戻入	374,237,887	387,919,350	96.4
(5)雑収益	74,607,617	83,596,140	89.2
<b>4 営業外費用</b>	<b>39,446,025</b>	<b>34,355,240</b>	<b>114.8</b>
(1)支払利息等	132,501,930	142,798,113	92.7
(2)雑支出	△93,055,905	△108,442,873	85.8
<b>経常利益</b>	<b>156,718,594</b>	<b>513,318,610</b>	-
<b>5 特別利益</b>	<b>51,926,962</b>	<b>0</b>	<b>皆増</b>
(1)固定資産売却益	0	0	-
(2)過年度損益修正益	51,926,962	0	皆増
(3)その他特別利益	0	0	-
<b>6 特別損失</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>-</b>
(1)固定資産売却損	0	0	-
(2)固定資産譲渡損	0	0	-
(3)過年度損益修正損	0	0	-
(4)減損損失	0	0	-
<b>当期純利益</b>	<b>208,645,556</b>	<b>513,318,610</b>	-
<b>前期純利益</b>	<b>882,683,498</b>	<b>113,776,419</b>	-
<b>当年度純利益</b>	<b>1,091,329,054</b>	<b>627,095,029</b>	-
<b>前年度繰越剰余金</b>	<b>2,884,632,251</b>	<b>2,884,632,222</b>	-
<b>その他未処分利益剰余金変動額</b>	<b>831,400,000</b>	<b>856,700,000</b>	-
<b>当期末未処分利益剰余金</b>	<b>4,807,361,305</b>	<b>4,368,427,251</b>	-



当期末の財政状態は次のとおりで、左側は資産の状態を、右側はその財源を示したものです。

### 水道事業貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

資産の部		負債・資本の部	
科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
<b>固定資産</b>	<b>58,605,381,321</b>	<b>固定負債</b>	<b>19,982,590,073</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>57,271,971,998</b>	企業債	18,474,655,084
土地	8,249,673,999	リース債務	18,341,136
建物	1,289,693,824	退職給付引当金	1,468,196,409
構築物	41,167,711,765	修繕引当金	21,397,444
機械及び装置	5,437,727,963	<b>流動負債</b>	<b>2,979,702,621</b>
車両運搬具	16,643,918	企業債	1,101,016,216
船舶	224,543	リース債務	24,558,852
工具器具及び備品	22,608,693	未払金	1,082,329,080
リース資産	39,522,820	前受金	227,629,081
建設仮勘定	1,048,164,473	賞与引当金	115,239,000
工事勘定	0	一時借入金	0
<b>無形固定資産</b>	<b>1,131,723,038</b>	その他流動負債	428,930,392
<b>投資その他の資産</b>	<b>201,686,285</b>	<b>繰延収益</b>	<b>13,520,131,903</b>
投資有価証券	200,000,000	長期前受金	13,520,131,903
出資金	1,686,285	<b>資本金</b>	<b>19,988,117,499</b>
<b>流動資産</b>	<b>6,438,871,661</b>	自己資本金	19,988,117,499
現金預金	5,317,840,658	借入資本金	0
未収金	1,065,030,080	<b>剰余金</b>	<b>8,573,710,886</b>
貯蔵品	54,217,400	<b>資本剰余金</b>	<b>3,385,747,581</b>
前払金	0	<b>利益剰余金</b>	<b>5,187,963,305</b>
短期貸付金	0	減債積立金	0
前払費用	1,783,523	建設改良積立金	380,602,000
その他流動資産	0	当期末未処分利益	4,807,361,305
<b>計</b>	<b>65,044,252,982</b>	<b>計</b>	<b>65,044,252,982</b>

### 3 令和4年度の予算の概要と事業の経営方針

#### (1) 予算の概要

(単位：千円)

収益的	収入	11,260,919	資本的	収入	1,559,778
	支出	10,631,071		支出	4,469,893
差引		629,848	差引		△ 2,910,115

収益的収入及び支出は、一日平均配水量14万9,653<sup>m</sup>（前年度の0.6%増）、給水戸数23万8,947戸（前年度の0.3%増）を対象とした営業活動の予算で、収入総額112億6,092万円、これに対し支出総額106億3,107万円であり、収支差引6億2,985万円が当年度の利益となります。

資本的収入及び支出は、収入総額15億5,978万円、これに対し支出総額44億6,989万円、このうち建設改良費は31億6,289万円です。なお、収支差引29億1,012万円の不足額につきましては、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額、損益勘定留保資金、建設改良積立金で補てんします。

#### (2) 事業の経営方針

これまで増加していた給水人口が平成29年度に減少に転じたことから、今後さらなる配水量の減少が見込まれ、水需要の減少に伴う給水収益の減少も予測されます。

このような厳しい経営環境においても、老朽化する水道施設の計画的な更新及び耐震化などの施策を着実に推進していくとともに、将来にわたって健全かつ安定した経営を持続できるよう経営基盤を強化し、引き続き安全な水道水を安定的に供給していきます。

令和3年度下半期 工業用水道事業の業務の状況

1 事業の概況

(1) 給水

区分	令和3年度下半期	令和2年度下半期	前年比
給水契約事業所数	51 所	51 所	100.0 %
給水事業所数	51 所	51 所	100.0 %
給水施設数	52 箇所	52 箇所	100.0 %
一日契約水量	20,912 m <sup>3</sup>	20,912 m <sup>3</sup>	100.0 %
配水量	1,807,673 m <sup>3</sup>	1,944,997 m <sup>3</sup>	92.9 %
一日最大配水量	(10月14日) 12,327 m <sup>3</sup>	(12月1日) 12,840 m <sup>3</sup>	96.0 %
一日最小配水量	(1月23日) 6,531 m <sup>3</sup>	(1月1日) 6,834 m <sup>3</sup>	95.6 %
一日平均配水量	9,932 m <sup>3</sup>	10,628 m <sup>3</sup>	93.5 %

3月末の給水契約事業所数と給水事業所数は、前年と同数の51箇所、給水施設数は、前年と同数の52箇所です。

一日契約水量は、前年同期と同数の20,912m<sup>3</sup>です。

配水量については、前年同期に比べて、

一日最大配水量は、4.0% (513 m<sup>3</sup>) 減の 12,327 m<sup>3</sup>で、

一日平均配水量は、6.5% (696 m<sup>3</sup>) 減の 9,932 m<sup>3</sup>です。

## 2 経理の状況

当期の経営状況は、営業収益が1億5,300万円（給水収益等）でこれに対する費用は1億1,208万円で差引4,092万円の営業利益となり、これに営業外収益（分担金、長期前受金戻入等）と営業外費用（支払利息等）を加減すると、当期は6,025万円の純利益となります。

### 工業用水道事業

（令和4年3月31日現在）

科目	令和3年度下半期	令和2年度下半期	前年比(%)
<b>1 営業収益</b>	<b>153,004,284</b>	<b>154,012,256</b>	<b>99.3</b>
(1)給水収益	152,998,667	154,008,084	99.3
(2)受託工事収益	0	0	-
(3)その他の営業収益	5,617	4,172	134.6
<b>2 営業費用</b>	<b>112,080,448</b>	<b>121,959,955</b>	<b>91.8</b>
(1)原水費	14,958,539	11,864,423	126.0
(2)浄水費	11,810,205	11,810,205	100.0
(3)配水費	57,048,728	59,350,055	96.1
(4)受託工事費	0	0	-
(5)業務費	6,308,051	6,387,922	98.7
(6)総係費	16,780,960	15,976,230	105.0
(7)減価償却費	22,469,750	16,921,651	132.7
(8)資産減耗費	△17,295,785	△350,531	4,934.1
(9)その他営業費用	0	0	-
<b>営業利益</b>	<b>40,923,836</b>	<b>32,052,301</b>	<b>-</b>
<b>3 営業外収益</b>	<b>13,392,519</b>	<b>6,414,691</b>	<b>208.7</b>
(1)受取利息	45,394	60,454	75.0
(2)分担金	8,047,928	0	皆増
(3)長期前受金戻入	4,823,220	6,243,373	77.2
(4)他会計補助金	104,000	96,000	108.3
(5)雑収益	371,977	14,864	2,502.5
<b>4 営業外費用</b>	<b>△5,934,352</b>	<b>△3,491,905</b>	<b>169.9</b>
(1)支払利息等	1,565,648	1,508,095	103.8
(2)雑支出	0	0	-
(3)消費税	△7,500,000	△5,000,000	150.0
<b>経常利益</b>	<b>60,250,707</b>	<b>41,958,897</b>	<b>-</b>
<b>5 特別利益</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>-</b>
(1)その他特別利益	0	0	-
(2)過年度損益修正益	0	0	-
<b>6 特別損失</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>-</b>
(1)固定資産譲渡損	0	0	-
(2)過年度損益修正損	0	0	-
(3)退職給付引当金繰入額	0	0	-
(4)減損損失	0	0	-
<b>当期純利益</b>	<b>60,250,707</b>	<b>41,958,897</b>	<b>-</b>
<b>前期純利益</b>	<b>29,833,742</b>	<b>56,806,176</b>	<b>-</b>
<b>当年度純利益</b>	<b>90,084,449</b>	<b>98,765,073</b>	<b>-</b>
<b>前年度繰越剰余金</b>	<b>393,201,951</b>	<b>345,436,878</b>	<b>-</b>
<b>その他未処分利益剰余金変動額</b>	<b>5,000,000</b>	<b>0</b>	<b>-</b>
<b>当期末未処分利益剰余金</b>	<b>488,286,400</b>	<b>444,201,951</b>	<b>-</b>

当期末の財政状態は次のとおりで、左側は資産の状態を、右側はその財源を示したものです。

工業用水道事業貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

資産の部		負債・資本の部	
科目	金額(円)	科目	金額(円)
<b>固定資産</b>	<b>738,501,530</b>	<b>固定負債</b>	<b>365,501,900</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>735,664,588</b>	企業債	303,742,117
土地	48,605,573	退職給付引当金	61,759,783
建物	22,567,003	<b>流動負債</b>	<b>48,153,873</b>
構築物	481,867,827	企業債	9,133,338
機械及び装置	129,214,200	資金手当債	0
車両運搬具	17,625	未払金	36,273,395
工具器具及び備品	794,057	前受金	0
建設仮勘定	52,598,303	賞与引当金	2,600,000
工事勘定	0	その他流動負債	147,140
<b>無形固定資産</b>	<b>23,227</b>	<b>繰延収益</b>	<b>137,981,063</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>2,813,715</b>	長期前受金	137,981,063
投資有価証券	0	<b>資本金</b>	<b>1,864,338,468</b>
出資金	2,813,715	自己資本金	1,864,338,468
<b>流動資産</b>	<b>3,074,406,759</b>	借入資本金	0
現金預金	3,008,424,055	<b>剰余金</b>	<b>1,396,932,985</b>
未収金	63,909,079	<b>資本剰余金</b>	<b>522,646,585</b>
貯蔵品	2,001,235	<b>利益剰余金</b>	<b>874,286,400</b>
前払金	0	減債積立金	0
短期貸付金	0	建設改良積立金	386,000,000
前払費用	72,390	当期末未処分利益剰余金	488,286,400
<b>計</b>	<b>3,812,908,289</b>	<b>計</b>	<b>3,812,908,289</b>

### 3 令和4年度の予算の概要と事業の経営方針

#### (1) 予算の概要

(単位：千円)

収益的	収入	330,895	資本的	収入	63,900
	支出	326,907		支出	231,939
差引		3,988	差引		△ 168,039

収益的収入及び支出は、一日平均配水量1万703 $\text{m}^3$ （前年度の2.0%減）、一日契約水量1万6,983 $\text{m}^3$ （前年度の18.5%減）、給水事業所数51所（前年度から増減なし）を対象とした営業活動の予算で、収入総額3億3,090万円、これに対し支出総額3億2,691万円であり、収支差引399万円が当年度の利益となります。

資本的収入及び支出は、収入総額6,390万円、これに対し支出総額2億3,194万円、収支差引1億6,804万円の不足額につきましては、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金で補てんします。

#### (2) 事業の経営方針

平成24年度、令和元年度に相次いで大口需要者が給水廃止したこと、令和4年4月から契約水量の見直しを実施したこと、これらに伴い料金収入が大幅に減少し、今後とも厳しい財政状況となることが見込まれます。

また、近い将来、施設の更新に多額の資金が必要となるため、現在の中新田浄水場での浄水処理について、広域連携を念頭に置いた浄・配水拠点の選択を含めて検討するとともに、工業用水道事業のあり方及び方向性について抜本的に見直しを行い、持続可能な事業運営に取り組みます。

## 令和3年度下半期 下水道事業の業務の状況

### 1 事業の概況

#### (1) 業務量

区 分	令和3年度下半期	令和2年度下半期	前年比
処理区域面積 (ha)			
西宮処理区	3,109.76	3,109.76	100.0%
武庫川下流処理区	1,164.11	1,163.03	100.1%
武庫川上流処理区	550.93	550.93	100.0%
計	4,824.80	4,823.72	100.0%
処理水量 (m <sup>3</sup> )			
西宮処理区	27,854,100	28,564,490	97.5%
武庫川下流処理区	4,763,858	5,225,474	91.2%
武庫川上流処理区	1,085,472	1,059,400	102.5%
計	33,703,430	34,849,364	96.7%

注 武庫川下流、上流処理区の処理水量は、流域下水道への流入量とする。

#### (2) 建設

公共下水道整備費で施工している主な工事は、次のとおりです。

1. 甲子園浜浄化センター4系水処理機械設備改築工事
2. 甲子園浜浄化センター4系水処理電気設備改築工事
3. 浜ポンプ場雨水ポンプ設備No. 3雨水ポンプ改築工事

## 2 経理の状況

当期の経営状況は、営業収益が28億9,899万円（下水道使用料、雨水処理負担金等）で、これに対する営業費用の49億4,258万円を差し引くと20億4,359万円の営業損失となります。これに営業外収益（他会計補助金、長期前受金戻入等）と営業外費用（支払利息等）及び特別損失（その他特別損失）を加減すると、当期は9億759万円の純損失となります。

### 下水道事業

（令和4年3月31日現在）

科目	令和3年度下半期	令和2年度下半期	前年比(%)
<b>1 営業収益</b>	<b>2,898,994,181</b>	<b>2,892,353,765</b>	<b>100.2</b>
(1) 下水道使用料	2,372,049,658	2,427,581,066	97.7
(2) 雨水処理負担金	377,436,847	365,547,827	103.2
(3) 他会計負担金	132,664,349	83,155,265	159.5
(4) その他の営業収益	16,843,327	16,069,607	104.8
<b>2 営業費用</b>	<b>4,942,584,826</b>	<b>4,697,277,214</b>	<b>105.2</b>
(1) 管渠費	104,655,061	137,218,060	76.2
(2) ポンプ場費	249,701,452	253,294,747	98.5
(3) 処理場費	647,707,052	631,414,386	102.5
(4) 流域下水道維持管理負担金	65,935,889	69,156,629	95.3
(5) 業務費	191,700,437	189,769,195	101.0
(6) 総係費	200,456,412	210,210,540	95.3
(7) 減価償却費	3,279,740,906	3,153,037,209	104.0
(8) 資産減耗費	202,687,617	53,176,448	381.1
<b>営業利益</b>	<b>△2,043,590,645</b>	<b>△1,804,923,449</b>	-
<b>3 営業外収益</b>	<b>1,580,152,753</b>	<b>1,482,817,646</b>	<b>106.5</b>
(1) 受取利息	3,013	7,774	38.7
(2) 国庫補助金	176,000	104,500	168.4
(3) 他会計補助金	106,448,201	137,617,430	77.3
(4) 長期前受金戻入	1,457,367,562	1,316,626,066	110.6
(5) 雑収益	16,157,977	28,461,876	56.7
<b>4 営業外費用</b>	<b>444,139,907</b>	<b>488,648,689</b>	<b>90.8</b>
(1) 支払利息等	388,411,862	445,148,170	87.2
(2) 長期前払消費税額償却	40,229,311	36,383,172	110.5
(3) 消費税	△40,000,000	△40,000,000	100.0
(4) 雑支出	55,498,734	47,117,347	117.7
<b>経常利益</b>	<b>△907,577,799</b>	<b>△810,754,492</b>	-
<b>5 特別利益</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	-
(1) 固定資産売却益	0	0	-
(2) 過年度損益修正益	0	0	-
(3) その他特別利益	0	0	-
<b>6 特別損失</b>	<b>8,927</b>	<b>0</b>	皆増
(1) 固定資産譲渡損	0	0	-
(2) 過年度損益修正損	0	0	-
(3) 臨時損失	0	0	-
(4) 減損損失	0	0	-
(5) その他特別損失	8,927	0	皆増
<b>当期純利益</b>	<b>△907,586,726</b>	<b>△810,754,492</b>	-
<b>前期純利益</b>	<b>1,134,778,756</b>	<b>1,336,141,568</b>	-
<b>当年度純利益</b>	<b>227,192,030</b>	<b>525,387,076</b>	-
<b>前年度繰越剰余金</b>	<b>2,015,010,235</b>	<b>1,884,243,445</b>	-
<b>その他未処分利益剰余金変動額</b>	<b>394,620,286</b>	<b>501,294,230</b>	-
<b>当期末未処分利益剰余金</b>	<b>2,636,822,551</b>	<b>2,910,924,751</b>	-



当期末の財政状態は次のとおりで、左側は資産の状態を、右側はその財源を示したものです。

下水道事業貸借対照表

(令和4年3月31日現在)

資産の部		負債・資本の部	
科 目	金 額 (円)	科 目	金 額 (円)
<b>固定資産</b>	<b>187,316,924,989</b>	<b>固定負債</b>	<b>51,846,786,492</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>181,453,606,097</b>	企業債	51,618,043,572
土地	32,347,586,477	退職給付引当金	158,696,412
建物	3,727,317,142	修繕引当金	70,046,508
構築物	115,895,891,859	<b>流動負債</b>	<b>9,451,166,251</b>
機械及び装置	24,952,981,746	企業債	4,530,975,303
車両運搬具	5,153,594	未払金	4,850,182,023
工具器具及び備品	11,089,932	前受金	3,365,000
建設仮勘定	4,513,585,347	賞与引当金	49,921,000
<b>無形固定資産</b>	<b>3,846,222,730</b>	その他流動負債	16,722,925
<b>投資その他の資産</b>	<b>2,017,096,162</b>	<b>繰延収益</b>	<b>67,433,538,696</b>
出資金	5,089,500	長期前受金	67,433,538,696
長期貸付金	0	<b>資本金</b>	<b>40,775,939,790</b>
基金	368,787,084	自己資本金	40,775,939,790
長期前払消費税	1,643,219,578	<b>剰余金</b>	<b>24,890,580,951</b>
<b>流動資産</b>	<b>7,081,087,191</b>	<b>資本剰余金</b>	<b>22,253,758,400</b>
現金預金	5,850,993,738	受贈資産評価額	8,411,650,474
未収金	1,230,093,453	国庫補助金	11,744,065,031
前払金	0	他会計補助金	2,091,772,382
前払費用	0	その他資本剰余金	6,270,513
その他流動資産	0	<b>利益剰余金</b>	<b>2,636,822,551</b>
		当期末未処分利益	2,636,822,551
<b>計</b>	<b>194,398,012,180</b>	<b>計</b>	<b>194,398,012,180</b>

### 3 令和4年度の予算の概要と事業の経営方針

#### (1) 予算の概要

(単位：千円)

収益的	収入	12,195,237	資本的	収入	6,744,074
	支出	11,872,352		支出	11,408,839
差引		322,885	差引		△ 4,664,765

収益的収入及び支出は、処理面積4,825ha、一日平均処理水量20万2,800m<sup>3</sup>を業務予定量とした営業活動に伴う収支で、収入総額121億9,524万円、これに対し支出総額118億7,235万円を見込んでおり、収支差引3億2,289万円が当年度の利益となります。

資本的収入及び支出は、収入総額67億4,407万円、これに対し支出総額114億884万円で、このうち建設改良費は68億6,105万円です。なお、収支差引46億6,477万円の不足額につきましては、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び損益勘定留保資金及び利益剰余金処分額で補てんします。

#### (2) 事業の経営方針

過去の集中的な整備のために借入れた企業債の償還ピークは過ぎたものの、全体の支出額に占める元利償還金の割合は依然として大きく、今後も厳しい状況が見込まれるため、より一層の経費削減に努めるなど経営改善への取組みを進めるとともに、下水道事業経営戦略に基づき浸水対策・雨水整備、合流式下水道の改善、高度処理、ストックマネジメント計画に基づく改築更新、地震対策などの事業を推進します。

## 令和 3 年度下半期病院事業 業務状況報告

### 1. 病院事業の概況

#### 業務実績

令和 3 年度下半期における入院患者数は、延べ 21,692 人（1 日平均 119.2 人）、外来患者数は、延べ 47,780 人（1 日平均 398.2 人）となり、前年同期に比べ入院患者数においては、141 人増加（1 日平均 0.8 人増）し、外来患者数においては、3,335 人増加（1 日平均 30.9 人増）しました。

区 分		3 年度下半期	2 年度下半期	増 減	増 減 率
入院	延 患 者 数	21,692 人	21,551 人	141 人	0.7 %
	診 療 日 数	182 日	182 日	—	—
	1 日 平 均	119.2 人	118.4 人	0.8 人	0.7 %
外来	延 患 者 数	47,780 人	44,445 人	3,335 人	7.5 %
	診 療 日 数	120 日	121 日	—	—
	1 日 平 均	398.2 人	367.3 人	30.9 人	8.4 %

区 分		3 年度下半期	2 年度下半期	増 減	増 減 率
入院	収 益	1,261,111,075 円	1,198,882,837 円	62,228,238 円	5.2 %
	1 人 1 日平均	58,137 円	55,630 円	2,507 円	4.5 %
外来	収 益	803,145,211 円	715,345,864 円	87,799,347 円	12.3 %
	1 人 1 日平均	16,809 円	16,095 円	714 円	4.4 %

## 2. 経理の状況

令和3年度下半期における収益的収支の状況は、病院事業収益で一般会計からの負担金及び補助金45,115,425円を含めて3,730,377,536円となり、対する病院事業費用は、3,554,665,684円で差引き175,711,852円の純利益となりました。

科目別に前年度同期と比較しますと、収益は、医業収益が2,190,519,223円となり、164,182,764円の増加(8.1%増)、医業外収益が1,501,208,393円となり328,431,952円の増加(28.0%増)、特別利益が38,649,920円となり、87,415,004円の減少(69.3%減)となりました。

収益合計は、前年度同期に比べ、405,199,712円の増加(12.2%増)となりました。

収益の主な増減の内容は、次のとおりです。

医業収益では、入院収益において、延患者数が141人増加(0.7%増)し、1人1日平均診療単価も2,507円増加(4.5%増)したため、62,228,238円の増加(5.2%増)となりました。

外来収益においても、延患者数が3,335人増加(7.5%増)し、1人1日平均診療単価も714円増加(4.4%増)したため、87,799,347円の増加(12.3%増)となりました。

医業外収益では、一般会計補助金が26,435,834円減少(42.8%減)しましたが、国県補助金が334,806,069円の増加(30.8%増)となりました。

特別利益では、その他特別利益が125,725,400円の減少(皆減)となりました。

対する費用は、医業費用が3,326,381,770円となり、50,443,368円の増加(1.5%増)、医業外費用が186,903,456円となり、7,922,673円の増加(4.4%増)、特別損失が41,380,458円となり、94,685,563円の減少(69.6%減)となりました。

費用合計は、前年度同期に比べ、36,319,522円の減少(1.0%減)となりました。

費用の主な増減の内容は、次のとおりです。

医業費用では、材料費が51,130,338円の増加(9.6%増)、減価償却費が21,864,883円の増加(10.2%増)、資産減耗費が11,585,438円の減少(96.8%減)、給与費が13,015,372円の減少(0.7%減)、などが主な増減となっています。

医業外費用の増加は、雑支出が9,115,732円増加(5.6%増)したことによります。

特別損失の増加は、その他特別損失が129,475,400円減少(皆減)したことによります。

損益については、前年度同期は265,807,382円の純損失を計上しましたが、今年度は175,711,852円の純利益となりました。

資本的収支については、収入が医療機器の取得の為の企業債借入、一般会計からの出資金などで73,065,674円となり、1,010,794,012円減少(93.3%減)しました。支出は医療機器の取得の為の建設改良費、企業債の償還費用などで399,524,297円となり、616,031,140円減少(60.7%減)しました。

収益的収入及び支出前年度比較

(単位：円)

科 目	3年度下半期	2年度下半期	増 減 額	増 減 率 %
<b>病院事業収益</b>	3,730,377,536	3,325,177,824	405,199,712	12.2
医業収益	2,190,519,223	2,026,336,459	164,182,764	8.1
入院収益	1,261,111,075	1,198,882,837	62,228,238	5.2
外来収益	803,145,211	715,345,864	87,799,347	12.3
その他医業収益	126,262,937	112,107,758	14,155,179	12.6
医業外収益	1,501,208,393	1,172,776,441	328,431,952	28.0
国県補助金	1,421,111,973	1,086,305,904	334,806,069	30.8
一般会計負担金	983,338	1,211,805	-228,467	-18.9
一般会計補助金	35,386,697	61,822,531	-26,435,834	-42.8
雑収益	3,642	7,219	-3,577	-49.5
長期前受金戻入	28,783,338	7,658,261	21,125,077	275.8
その他医業外収益	14,939,405	15,770,721	-831,316	-5.3
特別利益	38,649,920	126,064,924	-87,415,004	-69.3
過年度損益修正益	38,649,920	339,524	38,310,396	11,283.6
その他特別利益	0	125,725,400	-125,725,400	皆減
<b>病院事業費用</b>	3,554,665,684	3,590,985,206	-36,319,522	-1.0
医業費用	3,326,381,770	3,275,938,402	50,443,368	1.5
給与費	1,836,112,518	1,849,127,890	-13,015,372	-0.7
材料費	586,512,405	535,382,067	51,130,338	9.6
経 費	653,555,697	650,860,527	2,695,170	0.4
減価償却費	236,028,348	214,163,465	21,864,883	10.2
資産減耗費	386,537	11,971,975	-11,585,438	-96.8
研究研修費	13,786,265	14,432,478	-646,213	-4.5
医業外費用	186,903,456	178,980,783	7,922,673	4.4
支払利息及び企業債取扱諸費	1,809,486	2,138,142	-328,656	-15.4
消費税及び地方消費税	-6,616,000	-7,107,000	491,000	6.9
長期前払消費税額償却	20,909,425	22,264,828	-1,355,403	-6.1
雑支出	170,800,545	161,684,813	9,115,732	5.6
特別損失	41,380,458	136,066,021	-94,685,563	-69.6
過年度損益修正損	41,380,458	6,590,621	34,789,837	527.9
その他特別損失	0	129,475,400	-129,475,400	皆減
<b>差 引 損 益</b>	175,711,852	-265,807,382	441,519,234	—

(注) ①消費税及び地方消費税については、期末一括税抜処理としております。

②下半期の状況は、決算数値（税抜き）から上半期の税込み実績を差し引いた金額となっております。

資 本 的 収 入 及 び 支 出 前 年 度 比 較

(単位：円)

科 目	3 年 度 下 半 期	2 年 度 下 半 期	増 減 額	増 減 率 %
<b>資本的収入</b>	73,065,674	1,083,859,686	-1,010,794,012	-93.3
企業債	60,800,000	515,600,000	-454,800,000	-88.2
出資金	10,675,174	251,391,166	-240,715,992	-95.8
他会計からの長期借入金	0	4,800,000	-4,800,000	皆減
貸付金返還金	1,062,500	1,052,500	10,000	1.0
補助金	0	302,019,120	-302,019,120	皆減
寄附金	528,000	8,996,900	-8,468,900	-94.1
<b>資本的支出</b>	399,524,297	1,015,555,437	-616,031,140	-60.7
建設改良費	68,777,170	632,713,720	-563,936,550	-89.1
企業債償還金	322,197,127	373,841,717	-51,644,590	-13.8
他会計からの長期借入金返還金	6,750,000	6,600,000	150,000	2.3
投資	1,800,000	2,400,000	-600,000	-25.0
差 引 損 益	-326,458,623	68,304,249	-394,762,872	—

令和3年度下半期損益計算書 (R3. 10. 1~R4. 3. 31)

(単位：円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
<b>医業費用</b>	3,326,381,770	<b>医業収益</b>	2,190,519,223
給与費	1,836,112,518	入院収益	1,261,111,075
材料費	586,512,405	外来収益	803,145,211
経費	653,555,697	その他医業収益	126,262,937
減価償却費	236,028,348	<b>医業外収益</b>	1,501,208,393
資産減耗費	386,537	国県補助金	1,421,111,973
研究研修費	13,786,265	一般会計負担金	983,338
<b>医業外費用</b>	186,903,456	一般会計補助金	35,386,697
支払利息及び企業債取扱諸費	1,809,486	雑収益	3,642
消費税及び地方消費税	-6,616,000	長期前受金戻入	28,783,338
長期前払消費税額償却	20,909,425	その他医業外収益	14,939,405
繰延勘定償却	0	<b>特別利益</b>	38,649,920
雑支出	170,800,545	過年度損益修正益	38,649,920
<b>特別損失</b>	41,380,458	その他特別利益	0
過年度損益修正損	41,380,458		
その他特別損失	0	<b>当期純損失</b>	-175,711,852
合計	3,554,665,684	合計	3,554,665,684

(注) 消費税及び地方消費税については、期末一括税抜処理としております。

令和3年度貸借対照表 (R4. 3. 31現在)

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 ・ 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>固定資産</b>	4,487,942,418	<b>固定負債</b>	5,100,412,769
有形固定資産	4,405,660,770	他会計借入金	3,500,755,581
投資	82,281,648	企業債	599,418,987
		引当金	1,000,238,201
<b>流動資産</b>	1,840,512,490		
現金預金	761,047,125	<b>流動負債</b>	1,247,301,402
未収金	1,062,132,191	他会計借入金	7,200,000
貯蔵品	17,326,038	企業債	395,945,154
前払金	7,136	未払金	680,382,573
		引当金	144,551,917
		その他流動負債	19,221,758
		<b>繰延収益</b>	231,758,236
		<b>資本金</b>	14,518,300,920
		<b>剰余金</b>	△ 14,769,318,419
		資本剰余金	875,600,000
		利益剰余金	△ 15,644,918,419
<b>資産合計</b>	6,328,454,908	<b>負債・資本合計</b>	6,328,454,908

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 8,188,009,955円



1. 令和4年度予算の状況と事業の経営方針

(1) 業務の予定量

ア. 病床数	257 床
イ. 年間入院延患者数 (診療日数 365 日)	44,165 人
ウ. 年間外来延患者数 (診療日数 243 日)	92,340 人
エ. 1 日平均入院患者数	121 人
オ. 1 日平均外来患者数	380 人

## (2) 経理状況

## ①収益及び費用

(単位：円)

収 益 の 部		費 用 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
病院事業収益	5,400,873,000	病院事業費用	6,552,130,000
医業収益	4,685,989,000	医業費用	6,421,365,000
入院収益	2,641,509,000	給与費	3,331,840,000
外来収益	1,537,461,000	材料費	1,232,809,000
その他医業収益	507,019,000	経 費	1,400,951,000
		減価償却費	419,260,000
医業外収益	710,642,000	資産減耗費	4,500,000
受取利息	1,000	研究研修費	32,005,000
国県補助金	5,825,000	医業外費用	112,467,000
一般会計負担金	437,925,000	支払利息及び企業債取扱諸費	3,940,000
一般会計補助金	211,268,000	消費税及び地方消費税	13,694,000
雑収益	8,000	長期前払消費税額償却	25,850,000
長期前受金戻入	27,622,000	雑支出	68,983,000
その他医業外収益	27,993,000		
		特別損失	16,298,000
特別利益	4,242,000	過年度損益修正損	8,198,000
過年度損益修正益	1,242,000	その他特別損失	8,100,000
その他特別利益	3,000,000	予備費	2,000,000

## ②資本的収入及び支出

(単位：円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
資本的収入	552,307,000	資本的支出	494,346,000
企業債	61,000,000	建設改良費	89,000,000
出資金	413,946,000	企業債償還金	395,946,000
他会計からの長期借入金	0	他会計からの 長期借入金償還金	7,200,000
貸付金返還金	2,520,000	投資	2,200,000
補助金	74,841,000		

## (3) 事業の経営方針

県立西宮病院との統合については、令和2年2月に策定（10月に見直し）した基本計画を元に、同年冬から基本設計に着手し、各部門の詳細なゾーニングや諸室レイアウト、敷地全体での建物配置などを検討、令和3年10月に仮確定としました。それ以降は実施設計に移行しており、令和4年夏頃に完了し、秋に入札手続きを開始、冬には施工業者を決定して着工する予定です。また並行して、令和3年冬から新病院で必要となる医療機器、医療情報システムの検討を行っています。

統合再編新病院の開院に伴い、中央病院は閉院することになりますが、それまでの間、現状の水準を引き下げることなく、市民に良質な医療サービスを安定的かつ継続的に提供していく必要があります。そのためには経営の健全化が不可欠であることから、令和2年4月に経営改革プランの見直しを行いました。新たなプランでは、現在の施設・設備等を市民のために十分活用し、病床稼働率を向上させることにより経営改善を図ることとしています。

一方で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、令和2年8月以降、地域包括ケア病棟(49床)を同感染症患者の専用病棟として運用し、休止せざるを得ない病床が発生するなど通常の運用とは異なる事態が生じています。こうしたことから、令和4年度においては暫定的な目標として、「一般病棟での病床稼働率80%の達成」を掲げ、引き続き、感染拡大及び院内感染防止に向けた取組を実施するとともに、一般病棟の病床稼働率の向上を図ることにより、経営改善に努めます。